

令和 5年度 事業計画書

事業局課	道路局	維持課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	12-1-5 1
事業区分	■ 施設等整備費		□ その他				
歳出予算科目	一般会計	12	款	1	項	3	目
事業名称	道路等維持費 (道路修繕事業)			政策番号	38	政策指標	1
				枝番号	1	前年度事業名称	道路等維持費 (道路修繕事業)
				施策番号	1	施策番号	1
						施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	使用料及び賃借料	その他	市債	一般財源
令和5年度	9,890,073	10,000		4,716,641	27,622	1,500,000	3,635,810
補助事業	20,000	10,000					10,000
単独事業	9,870,073			4,716,641	27,622	1,500,000	3,625,810
令和4年度	10,782,299	10,000		4,716,641	9	1,500,000	4,555,649
増△減	△ 892,226	0	0	0	27,613	0	△ 919,839

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	10,164,502	10,468,437	10,468,344			10,890,073	10,890,073	10,890,073
市債+一般財源	5,465,986	5,744,496	5,723,444			6,135,810	6,135,810	6,135,810
事業費	9,935,016	10,372,223	10,152,252					
市債+一般財源	5,446,257	5,713,825	5,395,773					

事業概要	昭和27年に制定された道路法の第42条に記載されている『道路管理者は、道路を常時良好な状態に保つように維持し、修繕し、もって一般交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。』という理念をもとに市管理道路の維持管理を行います。								
事業開始年度									
根拠法令・方針決裁等	道路法 道路構造令								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>【事業目的・必要性】</p> <p>道路は日常生活や生産活動を支える基礎的な資産であり、交通の用に供するという本来の目的を果たすために、常に良好な状態に維持管理されなければならない。そのため、市管理道路のうち幹線道路では路面性状調査を行い、わだち掘れ・縦断方向の変形など損傷が著しくなっている路面の修繕工事を計画的に実施し、生活道路ではひび割れなどの老朽化が進んでいる路面の修繕工事を実施します。また、住民からの補修要望についても、順次対応する必要があるため、生活の基盤をなす道路の維持管理に努めます。</p> <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路⇒路面性状調査実施により道路損傷路面の計画的な修繕工事及び住民からの補修要望についても対応 ・生活道路⇒老朽化が進んでいる路面の修繕工事及び住民からの補修要望についても対応 <p>上記により毎年度着実な道路の維持管理を実施しており、市民の安全・経済活動に貢献しています。</p>								
根拠・データ等	別紙のとおり								
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
修繕実施面積	単位	目標	732,304	712,570	703,446	540,583	607,231	607,231	607,231
	m ²	実績	689,535	681,606					
調査延長	単位	目標	250	220	220	220	220	220	220
	km	実績	246	225					
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	<p>年度毎のスケジュールはありません。 (参考：年度スケジュール)</p> <p>4月：当年度予算配付 5月：前年度決算 7月：土木事務所ヒアリング(執行状況確認・次年度要望)</p> <p>7月～8月：次年度予算検討 9月：次年度事業計画 11月：執行状況確認 3月：決算見込調査</p>								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	道路修繕事業 単独事業	9,870,073	10,762,299	▲ 892,226	2月補正との一体的な計上による
	②	道路修繕事業 補助事業	20,000	20,000	0	
	細事業合計		9,890,073	10,782,299	▲ 892,226	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	調整係
	本橋 康武	青木 一義	小川名 明代

【実績及び今後見込み】

【事業費の内訳】

年 度	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)	令和5年度(見込)
工 種	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)
工 事 請 負 費	9,435,297	9,191,923	9,843,550	8,951,341
車 道 整 備	8,239,455	7,925,627	8,607,550	7,671,633
アスファルト/コンクリート舗装	5,400,895	5,568,431	5,629,626	4,989,237
アスファルト被覆	2,838,560	2,357,196	2,977,924	2,682,396
歩 道 整 備	288,308	344,392	310,317	408,783
路 肩 整 備	348,967	423,737	376,258	330,934
小規模補修整備	85,220	35,135	87,002	66,378
その他・雑工	473,347	463,032	462,423	473,613
委 託 料	742,844	748,919	688,000	688,000
委託料	742,182	747,440	685,400	685,400
土木防災情報システム	662	1,479	2,600	2,600
原 材 料 費	144,108	159,004	159,000	159,000
事 務 費	49,974	52,406	91,749	91,732
合 計	10,372,223	10,152,252	10,782,299	9,890,073

令和 5 年度 事業計画書

事業局課	道路局	維持課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	12-1-5 2
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		3	目	枝番号	2	前年度事業名称
歳出予算科目	一般会計	12 款	1 項	3	目	枝番号	2
事業名称	道路等維持費(私道対策事業)			政策番号	99	政策指標	施策番号 99 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	50,000					50,000
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	50,000					50,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算 事業費	49,200	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000
市債+一般財源	49,200	40,000	50,000	50,000	50,000	50,000
決算 事業費	46,227	76,295	66,538			
市債+一般財源	46,227	76,295	66,538			

事業概要	私道対策事業とは、私道整備助成と私道整備の二つの事業から成り、不特定多数の市民の通行の用に供され、公道と同等な機能を果たしている私道の整備を実施し、生活環境の向上に寄与することを目的とします。							
事業開始年度	私道整備助成 昭和48年度 私道整備 昭和59年度							
根拠法令・方針決裁等	私道整備の助成に関する要綱、私道整備実施要領							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<p>私道については所有者が維持管理することが基本ですが、不特定多数の市民が使用する私道においては、本事業を実施することで周辺住民の生活環境が向上していることから、財政状況が厳しい中でも引き続き推進していく必要があります。</p> <p>〔私道整備助成〕 多数の市民の通行の用に供され公道と同様な機能を果たしている私道の整備を実施して、市民の申請に基づき、舗装新設工事及び舗装補修工事に対し、その工事費用の10分の9の助成を行い、地域住民の生活環境の向上に寄与しています。</p> <p>〔私道整備〕 不特定多数の市民の通行の用に供され公道と同様な機能を果たしている主要な私道について、市民の申請に基づき、全額市費でその私道の整備を行い、地域住民の生活環境の向上に寄与しています。</p> <p>主要な私道とは以下のとおりです。 ①公共的な施設等から半径500m以内の私道、または新たに通学路と指定された私道で幅員2.7m以上のもの ②両端が公道に接続していること</p>							
根拠・データ等	別紙のとおり							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
私道整備助成・私道整備面積	単位	目標	4,930	2,230	2,230	1,836	1,836	1,836
	m ²	実績	2,764	3,330				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	<p>年度毎の事業スケジュールはありません。 (参考：年度スケジュール) 4月： 当年度予算配付 5月： 前年度決算報告 9月： 次年度事業計画 毎月： 各区案件状況確認・予算措置</p>							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	私道整備助成		46,700	46,700	0
②	私道整備		3,300	3,300	0	
	細事業合計		50,000	50,000	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	本橋 康武	青木 一義	小川名 明代

【実績及び今後見込み】

※市民からの申請に基づき行う事業ですので、4・5年度予算については見込みの数値です。

〔私道整備助成〕

	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
助成件数 (件)	14	17	13	12	10
延長 (m)	600	686	665	800	469
面積 (㎡)	1,781	1,886	2,686	1,900	1,568

〔私道整備〕

	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
助成件数 (件)	1	3	4	2	2
延長 (m)	22	261	183	100	79
面積 (㎡)	88	878	644	330	268

〔事業費の内訳〕

	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
負担金 (千円)	44,229	65,547	59,870	46,700	46,700
工事請負費 (千円)	1,998	10,748	6,668	3,300	3,300
合計 (千円)	46,227	76,295	66,538	50,000	50,000

令和 5 年度 事業計画書

事業局課	道路局	施設課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	12-1-5 3	
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		3	目	枝番号	3	
歳出予算科目	一般会計	12 款	1	項	3	前年度事業名称	街路樹管理事業費
事業名称	街路樹管理事業費			政策番号	31	政策指標	施策番号 3 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	使用料及び手数料	寄付金	市債	一般財源
令和5年度	1,757,096	0	0	313,299	3,000	0	1,440,797
補助事業 単独事業	1,757,096			313,299	3,000		1,440,797
令和4年度	1,757,096	0	0	313,299	0	0	1,443,797
増△減	0	0	0	0	3,000	0	△ 3,000

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費	1,747,096	1,747,096	1,767,096	1,760,096	1,760,096	1,760,096
市債+一般財源	1,433,797	1,433,797	1,443,797	1,443,797	1,443,797	1,443,797
決算	1,697,282	1,720,597	1,758,648			
市債+一般財源	1,418,895	1,451,455	1,443,772			

事業概要	都市の美観を維持し、樹木の健全な育成を図ると共に、歩行者や車両等が安全で円滑な通行を確保するために必要な維持管理、整備等を行う。								
事業開始年度	昭和52年度								
根拠法令・方針決裁等	道路法、道路構造令、横浜市街路樹要綱、横浜市街路樹設置基準、横浜市街路樹管理基準								
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	街路樹は、人々に潤いや憩いを与えるほか、防災、都市環境や地球温暖化、ヒートアイランド現象の緩和などに役立っている。街路樹維持管理は、これら街路樹等を良好に生育させ、市民に美しく豊かな緑を提供すると共に、歩行者や車両等の安全で円滑な通行を確保し、事故を未然に防止するために行う。 また、歩道の根上がりや樹木の老朽化による倒伏などの街路樹を起因とする事故に対し、安全確保と街路樹保全をするため、改良工事や街路樹診断などを行う。また、これにより将来の維持管理費の抑制を図ることができる。								
根拠・データ等	街路樹管理数量集計表（令和4年3月）								
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
高木本数	単位	目標	132,080	131,885	131,250	131,028	130,781	130,485	130,152
	本	実績	132,147	131,599					
植樹帯面積	単位	目標	124.49	124.16	123.80	123.65	123.47	123.24	123.00
	ha	実績	124.45	124.16					
	単位	目標							
		実績							
事業スケジュール	春～初夏：中低木刈込、春～秋：除草・草刈、春～秋：病虫害防除、秋～冬：高木剪定、植栽、改良工事(その他適宜実施)								

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	街路樹維持管理	1,574,955	1,538,444	36,511
②	改良等工事	60,000	170,754	▲ 110,754	高齢化・大径木化による更新
③	倒木対策	120,883	46,640	74,243	R5～次期点検計画による増
④	技術研修	138	138	0	
⑤	事務費	1,120	1,120	0	
	細事業合計	1,757,096	1,757,096	0	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	栗本 高史	係長	本田 昌幸	係	藤波 徹
--------------------	----	-------	----	-------	---	------

令和 5 年度 事業計画書

事業局課	道路局	路政課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	該当なし
歳出予算科目	一般会計	12 款	1 項	3 目	枝番号	4	前年度事業名称 認定路線管理費
事業名称	認定路線管理費			政策番号	99	政策指標	施策番号 99 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財 源 内 訳			一 般 財 源 等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	13,240	0	0	14	0	13,226
補助事業						0
単独事業						0
令和4年度	11,571	0	0	8	0	11,563
増△減	1,669	0	0	6	0	1,663

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予算 事業費	12,450	11,682	11,682
市債＋一般財源	12,432	11,674	11,674
決算 事業費	11,420	11,633	10,315
市債＋一般財源	11,411	11,625	10,307

令和6年度	令和7年度	令和8年度
13,240	13,240	13,240
13,226	13,226	13,226

事業概要	新たに市道となる道路の認定や区域の変更、不用になった市道の廃止を行うための法手続き及びその後の認定路線管理を行います。また、路線管理システム及び財産管理システムにおいて、認定・廃止及び区域変更データの管理及び財産管理データの管理等を行います。							
事業開始年度								
根拠法令・方針決裁等	道路法、不動産登記法、都市計画法							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> 新たに市道となる道路の認定や区域の変更、不用になった市道の廃止を行うための法手続き及びその後の認定路線管理を行います。また、公道移管のために寄附を受けた土地について、何らかの原因により所有権移転登記が済んでいない土地が発見された場合、速やかに地権者と交渉し所有権移転登記を行います。 市内認定道路約62,000路線の認定、廃止、区域変更データの管理及び財産管理データの管理等を行います。 市道の認定・廃止を行うにあたって市議会に上程する必要があることから、議案として提出する資料作成のために市会議案参考図作成委託を行い、また、認定・廃止の結果に基づき、認定路線図データ更新作業を行います。認定路線の適正な管理を行うことにより、市民に最新の認定路線図の閲覧機会を提供します。 路線管理システム及び財産管理システムの保守点検及び維持管理を行うことにより、道路法に基づく手続きを適正にかつ効率的に行います。 							
根拠・データ等	認定・廃止延長集計表、路線数集計表、都市計画法等に基づく帰属協議受付件数等							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
議会上程の議案参考図作成	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	%	実績	100.0	100.0				
認定路線データ更新	単位	目標	100	100	100	100	100	100
	%	実績	100.0	100.0				
システム保守点検	単位	目標	4	12	12	12	12	12
	回	実績	4	12				
事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> 年4回の市会開会時に、市会議案参考図を作成します。また、認定・廃止を行う路線について、現場確認を行います。市会の告示日に合わせて、認定路線図データの作成・更新を実施します。 路線管理システム及び財産管理システムの保守点検及び維持管理を月1回行います。 							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引 (増減)	増減説明
①	委託等事務費	12,228	10,559	1,669	委託実績額に基づく増
②	路線管理システム及び財産管理システム費	1,012	1,012	0	
	細事業合計	13,240	11,571	1,669	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	岡本 栄里	金山 浩将	竹内 真紀

令和 5 年度 事業計画書

事業局課	道路局	路政課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	12-1-2 1
事業区分	<input type="checkbox"/> 施設等整備費 <input checked="" type="checkbox"/> その他		3	目	枝番号	5	前年度事業名称
歳出予算科目	一般会計	12	款	1	項	3	目
事業名称	公道移管測量助成費			政策番号	99	政策指標	施策番号 99 施策指標

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	諸収入	市債	一般財源
令和5年度	36,000	0	0	0	0	36,000
補助事業 単独事業						0
令和4年度	36,000	0	0	0	0	36,000
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計	事業費	市債+一般財源	合計									
予算	45,495	45,495	90,990	40,000	40,000	80,000	40,000	40,000	80,000	61,832	61,832	123,664	36,000	36,000	72,000	36,000	36,000	72,000
決算	49,163	49,163	98,326	35,021	35,021	70,042	25,649	25,649	51,298	61,832	61,832	123,664	36,000	36,000	72,000	36,000	36,000	72,000

事業概要	私道の公道移管に必要な測量費を助成して公道移管の促進を図ります。							
事業開始年度	①公道移管測量費助成 昭和50年度 ②公図混乱地域内測量費助成 昭和54年度							
根拠法令・方針決裁等	①私有道路を市道にするための測量に要する費用の助成要綱 ②公図混乱地域内私有道路を市道にするための地図訂正に要する測量費用の助成要綱							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	<ul style="list-style-type: none"> ・私道の公道移管には多額の測量費がかかることが多く、全額市民負担とした場合、公道移管が困難となることが見込まれます。 ・個人等が私道から公道に移管するために必要となる測量費及び地権者全員の同意と発意により所有権と敷地境界の確認を行い集団和解方式により地図訂正をするための測量費を助成します。 ・公道移管に伴う道路台帳作成のための測量費及び公図混乱を解消するための測量費を助成することによって、申請者の費用負担の軽減を図ることができ、公道移管の推進につながります。 							
根拠・データ等	【根拠とするデータ】 測量費助成金見積審査受付件数等 【執行実績及び見込】 ①公道移管測量費助成 平成30年度 16,175千円(12件)、令和元年度 48,773千円(26件)、令和2年度 34,718千円(19件) 令和3年度 25,366千円(13件)、令和4年度(見込) 29,508(13件) ②公図混乱地域内測量費助成 <直近の実績> 平成25年度 26,368千円(1件)、平成26年度 33,416千円(1件)							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
公道移管測量費助成件数	単位	目標	-	-	-	-	-	-
	件	実績	19	13				
公図混乱地域内測量費助成件数	単位	目標	-	-	-	-	-	-
	件	実績	0	0				
	単位	目標						
	実績							
事業スケジュール	測量費助成までの流れは以下のとおりとなる。 助成の適否→測量費助成申込→審査→測量費助成金見積審査結果通知→市道移管作業進ちょく状況報告→交付申請書→審査→交付決定通知→請求書→支出事務→助成金受納							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称		5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	公道移管測量費助成	26,832	26,832	0	
②	公図混乱地域内測量費助成	9,168	9,168	0		
細事業合計		36,000	36,000	0		

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	岡本 栄里	金山 浩将	竹内 真紀

令和 5 年度 事業計画書

事業局課	道路局	施設課	新規拡充	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 拡充	事業評価書番号	12-2-3 6	
事業区分	■ 施設等整備費		<input type="checkbox"/> その他					
歳出予算科目	会計	12 款	1 項	3 目	枝番号	6	前年度事業名称 交通安全施設等補修費	
事業名称	交通安全施設等補修費			政策番号	28	政策指標	3	
					施策番号	3	施策指標	1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源等	
		国	県	その他	寄附金	市債	一般財源
令和5年度	539,114	0		91,542	10,414	97,000	340,158
補助事業							0
単独事業	539,114			91,542	10,414	179,000	258,158
令和4年度	386,114	0		52,442	31,500	122,000	180,172
増△減	153,000	0	0	39,100	△ 21,086	△ 25,000	159,986

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
							令和元年度
予算	事業費	390,294	229,444	335,614	571,000	571,000	571,000
	市債+一般財源	317,552	206,172	239,172	571,000	571,000	571,000
決算	事業費	284,819	245,812	259,486			
	市債+一般財源	263,828	189,209	198,714			

事業概要	防護柵、案内標識、道路照明灯、区画線等の交通安全施設の機能を維持するための補修等を行うものです。							
事業開始年度								
根拠法令・方針決裁等	道路法							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	道路法等の関係法令に定められた道路管理者としての責務の履行である。 防護柵、案内標識、道路照明灯、区画線等交通安全施設の累増に加え、高度経済成長期に整備した施設の老朽化が急速に進んでおり、補修を含めた維持管理が必要となっている。 これらの交通安全施設の補修を行うことで、交通安全施設の機能を維持することができ、利用者に安全な道路空間を提供する。							
根拠・データ等	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市管理道路延長：約7,641km(令和3年4月1日現在) スクールゾーン対策協議会要望 横浜市片持式道路標識個別施設設計計画 							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	年度当初に各土木事務所に予算配付をして交通安全施設補修を行う。年度中間時に執行状況、今後の執行予定を確認し、各土木事務所との調整を行い執行管理をする。							

(単位：千円)

細事業 (事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
	①	交通安全施設等(防護柵、区画線、誘導用ブロック、歩道、交差点改良、その他工種)	135,080	132,080	3,000
②	あんしんカラーベルト事業費	208,000	58,000	150,000	工事対象の増
③	標識	70,000	70,000	0	
④	張出歩道	35,000	35,000	0	
⑤	エレベータ等更新	90,000	90,000	0	
⑥	その他(設計費、事務費)	1,034	1,034	0	
	細事業合計	539,114	386,114	153,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	栗本 高史	中島 久智	榎田 洸介

令和 5 年度 事業計画書

事業局課	道路局	施設課	新規拡充	■ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	
事業区分	■ 施設等整備費 □ その他		新規拡充	■ 新規 □ 拡充	事業評価書番号	
歳出予算科目	会計	12 款	1 項	3 目	枝番号	7
事業名称	子どもの通学路交通安全対策補修事業			政策番号	28	政策指標 3
				施策番号	3	施策指標 1

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			一般財源等	
		国	県	その他	市債	一般財源
令和5年度	130,000	0				130,000
補助事業						0
単独事業	130,000					130,000
令和4年度	0	0				0
増△減	130,000	0	0	0	0	130,000

歳出	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算 事業費	0	0	0	130,000	130,000	130,000
市債+一般財源	0	0	0	130,000	130,000	130,000
決算 事業費	0	0	0			
市債+一般財源	0	0	0			

事業概要	通学路や生活道路においてビッグデータや事故データ等を活用・分析した安全対策を推進します							
事業開始年度	令和5年度							
根拠法令・方針決裁等	道路法							
①背景・課題の分析 ②事業目的・効果 (必要性)	①交通事故死者数は減少しているものの、生活道路での交通事故件数では減少幅が小さくなっています。 ②スクールゾーン対策協議会等の要望に対する対策に加えて、ビッグデータや事故データ等を活用し、ハンブや狭さく、あんしんカラーベルトの設置など予防保全的な対策を面的に実施することにより、交通安全対策に取り組みます。							
根拠・データ等	・ビッグデータ及び事故データ等							
事業指標	年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度
交通安全対策の取組地区数	単位	目標	0	0	0	4	3	3
	地区	実績	0.0	0.0				
	単位	目標						
		実績						
	単位	目標						
		実績						
事業スケジュール	ビッグデータや事故データ等を活用・分析し、取組地区における安全対策を検討し、対策を実施します。							

(単位：千円)

細事業(事業内訳)	細事業名称	5年度	4年度	差引(増減)	増減説明
①	ビッグデータや事故データ等を活用・分析した交通安全対策	130,000	0	130,000	
	細事業合計	130,000	0	130,000	

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	栗本 高史	係長	中島 久智	係	榎田 洗介